



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ELEMENTS
代表者名 代表取締役社長 長谷川 敬起
(コード番号：5246 東証グロース市場)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 山田 洋輔
(TEL 03-4530-3002)

2025 年 11 月期第 3 四半期決算において想定されるご質問への回答について

日頃より、当社にご関心をお寄せ頂き誠にありがとうございます。2025 年 11 月期第 3 四半期決算において想定されるご質問とその回答について、下記の通り開示させていただきます。

1. 2025 年 11 月期第 3 四半期業績について

Q1：2025 年 11 月期 第 3 四半期の業績の総括は？

2025 年 11 月期における第 3 四半期の売上高は 1,030 百万円（前年同期比+59%）、EBITDA は▲20 百万円（同▲83 百万円）、営業利益は▲153 百万円（同▲117 百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は当期純損失▲171 百万円（同▲94 百万円）となりました。

また、2025 年 11 月期第 3 四半期累計の売上高は 2,721 百万円（前年同期比+47%）、EBITDA は 219 百万円（同▲78 百万円）、営業利益は ▲136 百万円（同▲246 百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は▲622 百万円（同▲584 百万円）となりました。

Q2：2025 年 11 月期第 3 四半期の増収要因は？

個人認証ソリューションの売上高が、前年同期比+59%の 1,018 百万円と堅調に推移した点が挙げられます。主力の LIQUID eKYC サービス好調に加え、当四半期から株式会社ポラリファイ（以下、「ポラリファイ」と言います）の連結化も寄与いたしました。

Q3：2025 年 11 月期第 3 四半期の営業利益および EBITDA の減少要因は？

売上総利益率はポラリファイの連結化に伴い前年同期比で低下したものの 73.2%を確保し、売上総利益は前年同期比で+39%増の 754 百万円で着地しております。

販売費および一般管理費は人員数の継続的な増加に加え、ポラリファイの連結化（215 百万円）およびポラリファイ M&A 関連費用（53 百万円）の影響により、前年同期比で+330 百万円（同+57%）増加の 907 百万円となりました。

営業利益は上記の結果、▲153 百万円となりました。なお、ポラリファイの M&A 関連費用を控除した営業利益は▲100 百万円となりました。

EBITDA は▲20 百万円と前年同期の 63 百万円から▲83 百万円の減少となりました。なお、ポラリファイの M&A 関連費用を控除した EBITDA は 5 百万円の黒字を確保しております。

Q4：EBITDA と営業利益の差分について教えてほしい。

EBITDA は「営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋株式報酬費用＋のれん償却

額」で算出されます。

Q5：営業利益と親会社株主に帰属する当期純利益の差分について教えてほしい。

営業利益と当期純利益の差分については、2025 年 11 月期第 2 四半期において株式会社アドメディカ（以下、「アドメディカ」）に係る減損損失として 659 百万円を計上したことが主な理由となります。詳しくは 2025 年 7 月 14 日に開示した「通期連結業績予想の修正、並びに特別損失に関するお知らせ」をご参照ください。

Q6：本社移転に伴う減損損失について教えてほしい。

当社は、2025 年 8 月 21 日付で公表した「本社移転に関するお知らせ」のとおり、本社移転を予定しており、当社が保有する固定資産（現本社施設）の減損損失を特別損失として計上いたしました。詳しくは 2025 年 10 月 14 日に開示した「本社移転に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 2025 年 11 月期通期業績予想について

Q1：変更後の 2025 年度 11 月期通期業績の見通しに対する進捗を教えてください。

変更後の通期業績予想に対する進捗は以下のとおりです。

（単位：百万円）	修正予想	累計実績	進捗率
売上高	3,815～4,000	2,721	68.0%～71.3%
EBITDA	150～275	219	79.6%～146%
営業利益	▲325～▲225	▲136	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲825～▲725	▲622	-

Q2：第 3 四半期までの累計実績の水準に比して通期の利益予想値が強気に見える。

2025 年 10 月 14 日に開示した「2025 年 11 月期 第 3 四半期決算説明資料」の P16 にて開示させていただきましたとおり、四半期ごとの認証完了回数のトレンドとして、第 4 四半期の認証完了回数は前四半期対比で 110%～120%程度増加するトレンドが存在しております。そのため、当社売上および利益は、第 3 四半期対比で第 4 四半期の方が強い傾向が存在します。

以 上

【免責事項】

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社グループが事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社グループ以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社グループはそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。